

(公財) 日本体操協会
令和3年度第1回定時評議員会議事録

1. 日時 令和3年6月26日(土) 14時00分～15時25分
2. 場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3F 会議室2
会場集合およびリモート (Microsoft Teams 使用) による併用会議

3. 出席者 <評議員>

会場出席

大島齋礼、瀧澤康二、林直樹

リモート出席

柳善二郎、長澤稔子、長谷川輝紀、鷹西美佳、崇島慎一、慶野峰晴、
大橋英記、渡邊一郎、渡邊榮一、望月克己、森令子、竹谷 一、知念義雄

計 16名

(欠席)

コシノヒロコ、早田卓次、加藤澤男、田中和子、藤田正敏、白石伸三 6名

<理事・監事>

具志堅幸司副会長、荒木達雄副会長、長谷川洋子副会長、
山本宜史専務理事、竹田幸夫監事、高橋史安監事 6名

<特別出席>

国際体操連盟 (FIG) 会長/当協会顧問 渡辺守成
(スイス・ローザンヌからリモート参加)

新任理事候補 藤田 直志

<事務局>

守永直人事務局長、渡邊 榮事務局統括

4. 資料の確認

審議事項

- 第1号議案 2021-2022 役員選任について
第2号議案 定款一部変更について
第3号議案 2020 年度事業報告・決算報告

報告事項

- 第1号 新評議員の報告
第2号 退任役員挨拶 (代表 二木英徳会長)
第3号 新顧問名簿について
第4号 その他

5. 権限審査

定款第 5 章第 24 条に基づき本評議員会は評議員 22 名中、出席評議員 16 名のため、評議員会開催の定足数（過半数）に達していることを渡邊事務局統括報告。

6. 議長選出

定款第 4 章第 16 条の定めにより、評議委員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、瀧澤康二評議員が、全会一致で議長に選出された。

7. 議事録署名人

定款第 5 章第 26 条に基づき、議長の瀧澤康二ならびに大島斎礼評議員及び長谷川輝紀評議員の 3 名を指名し、異議なく承認された。

8. 役員挨拶

■具志堅副会長挨拶

- ・2020 東京オリンピックまで 1 ヶ月を切り、当協会のオリンピック代表選手も内定。
- ・政策方針で掲げた約束に向けて、全員の活躍と健闘を期待している。

■渡邊国際連盟（FIG）会長挨拶

- ・2001 年から二木会長体制がスタートした。スタートから 4 年の 2004 年アテネオリンピックで男子団体が金メダル奪還。抜群のチームワーク。富田選手の栄光の架け橋は今も記憶に新しい。卓越したリーダーシップにより、体操ニッポンの復活・大躍進させた。美しい体操は、世界の体操の価値を変えた。
- ・新理事候補の藤田氏とは、2010 年に経営破綻した日本航空の看板を全日本の大会会場で多数掲出したことがある。ご縁もあり今後の体操界の発展に寄与する方だと感じている。
- ・現場最優先の方、力をあわせて、体操界の更なる発展に期待したい。

9. 審議事項

第 1 号議案 2021-2022 役員選任について

議長の指名により、役員選定委員会委員長の荒木達雄委員長は候補者の説明を行った。役員選定委員会は、1 月 18 日・2 月 15 日・3 月 9 日及び 6 月 1 日の 4 回の委員会を開催。理事・監事全員が、定款の規定により本定時評議員会をもって任期満了退任するので、スポーツ団体ガバナンスコードに基づき、次期役員候補者の選定を行った。

まず、退任役員は 4 名。二木英徳会長（在任年数 20 年）、山崎浩子常務理事（在任 20 年）、加納実理事（在任 16 年）、村木啓造理事（在任 4 年）。

二木会長は 20 年に亘り、体操ニッポンの復活に多大な貢献をされた。また AGU 会長も歴任され、アジア全体の底上げにも貢献、今後の協会運営にもご支援をお願いしたい。

新任候補として、次期会長候補として J A L 副社長を務めた藤田直志氏。
同氏は会長推挙委員会からの推薦で、会社経営だけでなく、人材育成、健康経営、地域活性化にも取り組んできた。

田野辺満理事候補は 4 月より地域委員会委員長として就任、ブロックとの調整、地域の健全な推進担当。

曾我部美佳理事候補は山崎常務理事の後任として就任、強化本部副本部長として新体操の強化担当。

北川・八木タミー理事候補。FIG エアロビック技術委員長として活躍。国際的な活動期待。地域委員会推薦として橋爪みすず理事候補は新体操審判本部長として、審判育成、大会運営、地域での養成担当。

監事候補として竹田幸夫監事の後任として小河原監事候補。東海大学体操部部長。

女性比率は目標 4 0 % に対して今回は 3 6 %。

今回連続 1 0 年以上の役員が 4 名いるが、これは、「激変緩和措置」を適用して 1 期 2 年継続しての配置とした。

議長は、質問・意見の有無を議場に諮った。

特に意見はなく、議長は以下、理事候補者を個別に議場に諮った。

藤田直志氏

異議なく承認。

具志堅幸司氏

異議なく承認。

竹内輝明氏。

異議なく承認。

長谷川洋子氏

異議なく承認。

荒木達雄氏

異議なく承認。

山本宜史氏

異議なく承認。

遠藤幸一氏
異議なく承認。

水鳥寿思氏
異議なく承認。

田中 光氏
異議なく承認。

竹村英明氏
異議なく承認。

後藤洋一氏
異議なく承認。

米田 功氏
異議なく承認。

岩瀬史子氏
異議なく承認。

田野
邊満氏
異議なく承認。

曾我部美佳氏
異議なく承認。

萩原智子氏
異議なく承認。

加藤裕之氏
異議なく承認。

川人亜矢子氏
異議なく承認。

田中理恵氏
異議なく承認。

北川タミー（八木タミー）氏
異議なく承認。

田坂利明氏
異議なく承認。

橋爪みすず氏
異議なく承認。

以上、理事候補 2 2 人、全員、選任された。

次に議長は以下、監事候補者を個別に議場に諮った。

高橋史安氏
異議なく承認。

小河原慶太氏
異議なく承認。

監事 2 名 異議なく、選任された。

以上のとおり、理事 2 2 名、監事 2 名の選任は、承認・可決された。

役員選任の終了後に藤田新理事の挨拶として、日本と世界の体操の発展に努力していく旨の報告がなされた。

第 2 号議案 定款一部変更について

議長の指名により、山本専務理事が、次の説明を行った。

今回、御退任される二木会長は、10 期 20 年の長きに亘り、体操協会の発展に大きく寄与されました。引き続き、協会運営に携わって戴きたいとのことから、今回、名誉会長としてサポートして戴きたい。名誉会長ポストは、定款に定めていないため、今回、定款の一部変更を提案する。

第 8 章の顧問の項目に名誉会長を追加、名誉会長は 10 年以上会長を務められたものとする。

議長は、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に意見はなく、第2号議案は、承認・可決された。

第3号議案 2020年度事業報告・決算報告

議長の指名により、渡邊事務局統括はつぎの説明を行った。

まず、2020年度事業報告。

定款第4条（事業）をベースに公益目的事業および収益事業につき具体的な説明を行った。
2020年度は、新型コロナウイルス感染症により、国内大会チーム派遣等事業の多くが中止となった。

公益目的事業

1. 国際貢献事業

F I G、AGU等殆どオンライン会議、

2. 競技力向上・選手派遣事業

オリンピック1年延期。アジア選手権、コロナで中止。

実施：Friendship and Solidarity Competition コロナ対策実施

WC ソフィア大会

国内外合宿等

3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業

審判講習会、コーチ育成、公認審判員、選手登録、機械器具検定

4. 競技会等開催事業

地域関係、体操スクール等の説明

5. 顕彰事業

協会三賞

公益目的事業比率は86.5%となった。(50%以上が公益の最低条件)

収益事業

1. マーケティング事業

2. 出版物販売事業

次に決算報告書の説明に先立ち、竹田幸夫監事より、監査報告書が読み上げられた。

公認会計士の監査報告、監事の報告、監査手続きに従い、監査を行ったこと。監査結果は法令に準じていること。不正等認められなかったこと。計算書類等適正に表示されていることが報告された。今回、内閣府とのやり取りで、公益会計と収益会計との間の金額が所用要件に満たないものが判明した。経常増減額や正味財産額等への変更はない。監査報告書日付の変更を行った。(5/28→6/22)

決算報告は、決算概要資料に則り、要点を説明した。

1. 正味財産増減計算書

予算収支 28,030 千円に対し、実績 282,665 千円となった。

	予算	決算	前年度 (単位：千円)
経常収益	1,650,264	888,335	1,778,823
経常費用	1,622,234	605,670	1,875,494
経常増減	28,030	282,665	▲96,670
当期増減	28,030	282,665	▲96,670

2. 貸借対照表

総資産 1,556,869 千円で前年度比 763,710 千円増加。

期末正味財産 773,399 千円で、前年度比 282,665 千円増加。

正味財産比率前年度 61.8%から 49.6%で 12.2%減。(総資産増による)

- ・主要科目の内容につき説明。

寄付金収入による現預金増加。前受金増加。

- ・助成金等の説明他

- ・特記事項

収益構造の見直し・改善

大会等のコスト管理の徹底・

以上の報告を受け、議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

特に意見等はなく、第3号議案は承認・可決致しました。

10. 報告事項

第1号報告 新評議員について

議長の指名により、評議員選定委員会の竹田監事が説明を行った。

日本体操協会、外部評議員として

退任は、早田卓次氏、加藤澤男氏、コシノヒロコ氏の3名。

新任は、岡村輝一氏、公認会計士である坂上誠氏、

再任は、大島斎礼氏、瀧澤康二氏、長谷川輝紀氏、鷹西美佳氏、林直樹氏となります。

加盟団体5団体からは、

新任は、シニア連盟の塚原千恵子氏、新体操連盟から谷口裕代氏、

再任は、ジュニア連盟から長澤稔子氏、全日本学生体操連盟から慶野峰晴氏、日本エアロビック連盟から田中和子氏となります。

地域ブロックからは、

新任は、東北ブロックから松井保憲氏、北信越ブロックから川上新一氏、近畿ブロックから山田正夫氏、中国ブロックから原 康之氏、四国ブロックから岡部洋明氏、再任は、北海道ブロックの大橋英記氏、関東ブロックの渡邊一郎氏、東海ブロックの望月克己氏、九州ブロックの知念義雄氏となります。

以上、合計 21 名となります。前回比較で 1 名減。

定款での評議員定数は、20 名以上 25 名以内。以上の通り、報告がなされた。

以上の報告を受け、議長は、議場に質問・御意見を諮った。
特に意見等はなし。

第 2 号報告 二木会長退任ご挨拶（リモート参加）

二木会長より以下の挨拶がなされた。

- ・ 2004 年のアテネ五輪の男子団体金メダルは鮮明に残っている。
- ・ グランデイ前 FIG 会長を含め、20 年は感慨深く、充実した年月でした。
- ・ 藤田さんは、今後の体操界を更にレベルアップさせ、益々発展させて頂きたい。
- ・ 東京五輪その後の世界体操・新体操の成功を祈念しています。
- ・ 協会内外及び選手の皆様に厚くお礼を申し上げます。
- ・ 20 年間有難うございました。

第 3 号報告 新顧問名簿について

議長は、山本専務理事を指名し、山本専務理事は顧問名簿を説明した。

今回、全顧問に重任の意思確認を行った結果、松田治廣先生、秋間健男先生、塩野尚文先生の 3 名に辞退の表明がありました。

【継続顧問】

平岡英信、河合敏男、池田敬子、加藤澤男、千葉敬伍、田中武彦、笹田茂和、
瀧澤康二、八島 正、笠松 茂、梶山広司、五日市亨児、岡村輝一、大島斎礼
早田卓次、柳 善二郎、関田史保子、竹田幸夫、長谷川輝紀、小竹英雄、
渡辺守成、塚原光男、石崎朔子

以上 23 名

10. その他

議長は、評議員からその他の意見を募った。

大島評議員

監事に質問。定款第 14 条—2 項に『評議員はこの法人又はその子法人の理事、監事、使用人を兼務することはできない。』と規程している。

公益財団法人の子法人とは、どういうものが該当するか。

⇒事務局が内閣府に確認している。回答が得られたらご報告致します。

長澤評議員

お願い事です。東京五輪開催すぐですが、永年体操界に貢献された方に大会を観戦させたいが、チケット等お願いできますか？

⇒（山本専務）組織委員会にもお願いしましたが、今回は対応できかねます。

申し訳ありません。

崇島評議員

東京五輪の開催等に対して様々な意見を持つ方がいる。選手・関係者等に発言等には十分に注意喚起して欲しい。

議長は、すべての議案の終了を確認し、15時25分閉会を宣言した。

令和3年6月26日

議長

瀧澤 康二



議事録署名人

大島 齋礼



議事録署名人

長谷川輝紀

